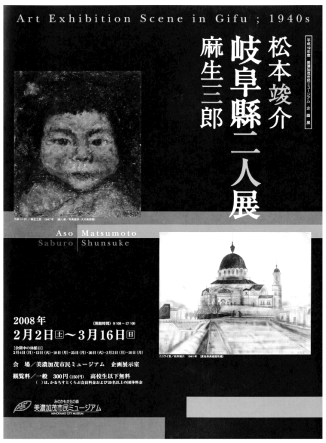
岐阜縣二人展　松本竣介・麻生三郎



（1）趣　旨

1947(昭和 22)年、戦後まもない時代に伏見駅前にあった亜炭労働組合本部で松本竣介(1912－1948)年、麻生三郎(1913－2000)年、舟越保武の作品が展覧されました。この地域が亜炭の採掘により経済的な繁栄をみせた時代、この展覧会は亜炭産業に関係した人々の手によって実現したと伝えられています。

本展はこの昭和 22 年の展覧会をきっかけとして地域の様子の紹介をふまえつつ、このときに展覧された作品を含めた作家達の 1940 年代の作品を中心に展示しました。

（2）会　期　　2008(平成 20)年 2 月 2 日(土)
～3 月 16 日(日)＜37 日間＞

（3）観覧料　　一般 300 円(150 円)、高校生以下無料
(　　)は 20 名以上の団体料金及び、かるちすとくらぶ料金

（4）会　場　　企画展示室

（5）関連事業

①ミュージアムフォーラム　「松本竣介－戦時下の画家」

戦中から戦後の画壇で活動した松本竣介の当時の様々な作品を紹介しながら、その画業についてお話いただきました。

《2008(平成 20)年 2 月 9 日(土)14：00～15：30／会場：研修室／参加料：無料
講師：浅野徹氏(名古屋芸術大学美術学部教授)》

②ミュージアムトーク　作品鑑賞会

当館学芸員が展示室を案内しました。

《2008(平成 20)年 2 月 3 日(日)、3 月 1 日(土)①11：00～12：00 ②14：00～15：00／会場：企画展示室／参加料：企画展観覧料》

（6）図　録

岐阜縣二人展　松本竣介・麻生三郎　図録
Ａ４変型判　１４ページ　　３００円